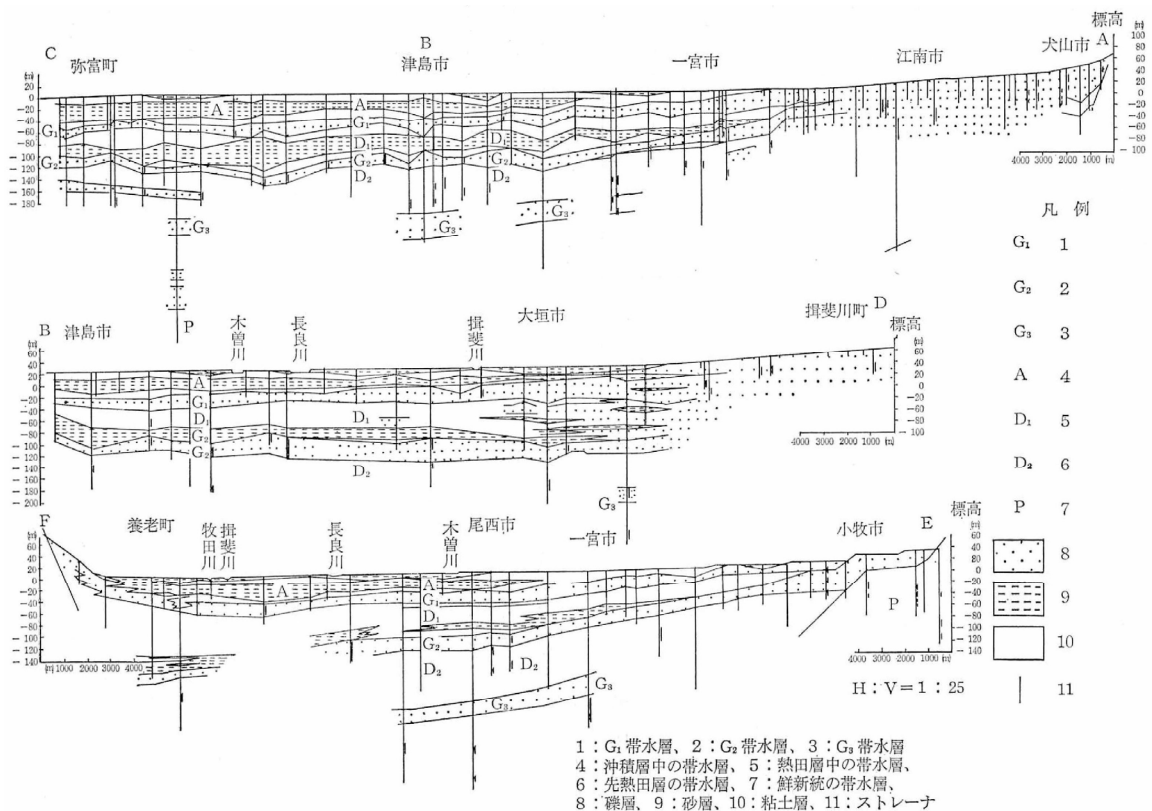


地形・地質

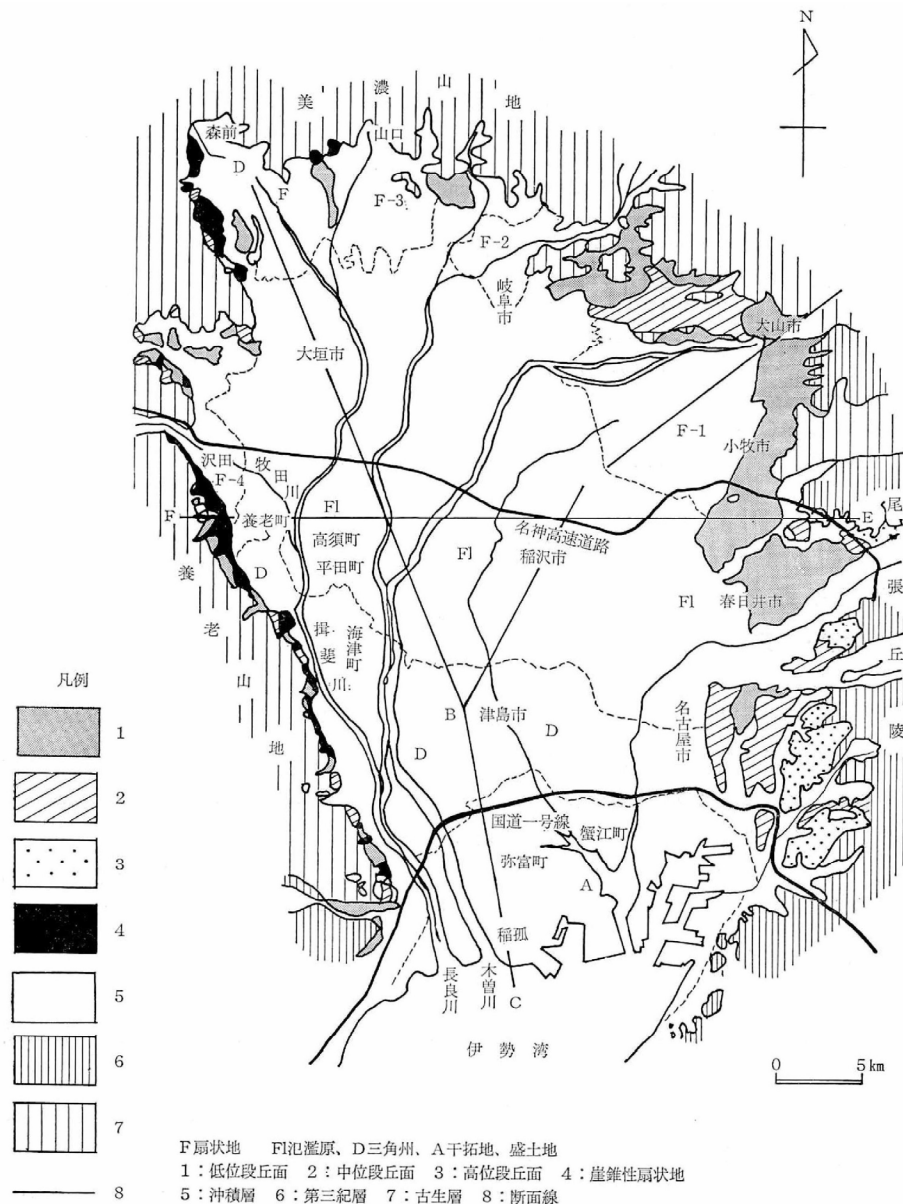
濃尾平野は、木曾川・長良川・揖斐川・庄内川の流域に発達した面積約 1300km² の大平野です。濃尾平野の北東と北西には、大小河川によって形成された扇状地群がよく発達し、その先に氾濫原、さらに下流には三角州性低地や干拓地が広がります。



濃尾平野における帯水層の分布

地下水

地下水の帯水層となりうる地層は、瀬戸層群矢田川累層、洪積層および沖積層です。特に安定した広がりを持つ礫層は、G1層・G2層・G3層とそれぞれ呼ばれています。



濃尾平野の地形・地質概要図

出典 日本の地下水（農業用地下水研究グループ,1986）（一部加筆）

「日本の地下水」では全国の地下水盆の概要が紹介されています。各地下水盆の概要を紹介している頁と関連する論文等を、下記の Web ページで閲覧できます。

<http://www.jagh.jp/jp/g/activities/committee/research/gwddb.html>（日本地下水学会）